



# 手をつなぐ仲間のうたごえニュース

No.22 2025/11/26  
手をつなぐ仲間 事務局  
神戸市中央区元町通り6丁目6-7

ジーライオンアリーナ神戸

## 600名近い大合唱が響く!!

### 11/24大音楽会「手をつなぐ仲間」のステージ大成功

11/22～24、神戸の各会場において日本のうたごえ祭典が開催されました。最終日の24日にはジーライオンアリーナ神戸で大音楽会が開催され、「手をつなぐ仲間」は600名近い大合唱で会場いっぱいにそのうたごえを響かせました。

長期に渡り準備してこられた実行委員会の皆さんと、当日様々なシーンで裏方として舞台を支えていただいたスタッフと要員の皆さんに感謝したいと思います。

大音楽会のステージは「阪神淡路大震災」30年、「非核神戸方式」50年、「被爆・戦後」80年という節目の年となり、この三つの柱を基調とした構成内容です。

その中で、「手をつなぐ仲間」のステージでは保育の充実を願う♪もう一人行進曲、不当な解雇を許さない不屈の闘いを続ける♪勝利の朝を信じて、人間の絆と尊厳を高らかに歌い上げる♪人間の歌を演奏しました。

今後「うたごえ新聞」等で詳細が伝えられると思いますが、本ニュースでは出演者・鑑賞された皆さんの声を中心にお届けしたいと思います。なお、これを持ちまして「手をつなぐ仲間」ニュースは終わりとさせていただきます。長い間お付き合いいただきましてありがとうございました。



ジーライオンアリーナ神戸から見た夕焼け

### 感想etc.

●3日間通してとっても素敵な祭典でした😊

藤井さんをはじめ、兵庫の実行委員の皆さん、全国常任の皆さん松永さん、いろいろ準備からはじまり裏方をしよっていただきありがとうございました。

もう一人行進曲も年々一緒に歌う人も増え、今年は600人近く👏とっても嬉しく、うたごえと運動の広がりも感じました！

ジーライオンアリーナ素敵な会場でしたね😊

あのスクリーンの大きさには感激(歓喜)でした！

●3日間、素敵な時間をありがとうございました😊  
準備と片付けに関わった方々、お疲



れ様でした。

裏方の皆さんのおかげで楽しい3日間を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

保育のうたごえのメンバーとは、Zoomやラインで連絡取り合ってきたので仲間意識が持てて、直に会って共に歌い交わせて、とても幸せな時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました😊

来年の祭典では、新しい仲間を誘って参加できるようにそれぞれの場所でうたごえを広げていきたいですね😊

### 当面の行動

12/19(金)18:00～事務局会議  
神戸青年合唱団事務所

●初めての参加でした。  
合唱は昔から歌うのも聴くのも大好きですが、舞台からだけでなくまわりの客席からも歌声が聞こえてくることに驚きました。  
舞台と客席が一体になるとはこういうことですね。感動しました。

神戸というので震災の鎮魂もあり、私も被災者としては感動の歌声でした😭宝塚で被災しました。

震災のこと戦争のことを今でも語り継ぎ歌い継いでくださっていることに感動しました。

大きなアリーナに響く闘いの歌も素晴らしいかったです。

こんなコンサートが開かれていることに驚きました。もっとたくさんの人が来てくれたら良いなあ、と思いました。(京都在住/元JALCA)

●感動の祭典でした！  
ステージでは歌い終わるのが寂しかったです。

私が初めて練習会に参加させていだいたのは5月だったかと思いますが、半年間励まされることばかりでした。

うたごえ祭典がこんなにも素晴らしいものだったとは！



指揮／増田二郎(もう一人行進曲) 指揮／高田龍治(勝利の朝を信じて・人間の歌)



●日本のうたごえ祭典in神戸 ひょうごの3日目大音楽祭がGライオンアリーナ神戸で開催されました。

今年は戦後80年、阪神淡路大震災から30年のメモリアルイヤー。にも関わらず、現実が高市政権は戦争する国づくりへと突き進もうとしている。そして地元兵庫県では知事のパワハラ問題を発端に労働者や議員が自死するという痛ましい事件が起っている。そんな中でのうたごえ祭典の役割は大きい。

元気なだんじり太鼓で始まり、全国の仲間のうたごえが繰り広げられた。前半は大学生2人の司会。後半は震災後4年経過してから震災の詩の朗読をされている俳優の竹下景子さんとうたごえ祭典神戸のキャラクターかもタンとのコラボ司会。

震災当時の詩を竹下景子さんが朗読し、震災の後、神戸の学校で歌われている「しあわせ運べるように」など合唱。グッとこみ上げて涙が溢れてきました。

空の安全のために闘う労働者をJALは解雇した。解雇撤回を求めて裁判闘争している粘り強い人たち、健やかな子どもの成長のために保育現場にもう1人保育士を増やして！の切実な願い、国鉄民営化の嵐の中で働きがい奪われて命を絶った者への鎮魂と明日への希望を歌った舞台、地元で活動するアカペラグループの聞き惚れる演奏などなど、感動の連続でした。

明日からの生きる力をもらいました。うたごえは平和の力、うたは闘いとともに。(澤田和代)

●うたごえ祭典には、掲げる大きなテーマがあり、それを多くの人たちが真剣に舞台上で歌い上げる姿に、私は驚きました



阪神・淡路大震災後の復興についてもテレビのニュースを見るだけで、非核神戸方式にも全く知識がなかった私には恥ずかしい限りでした。そして辰巳さんが出場された舞台上「JAL不当解雇」「保育士の増員」などの旗の横で力強く歌う方たちには驚きを隠せませんでした。先日から「沈まぬ太陽」を読んでおり、昔の出来事のように感じていたからです。また神戸に住む1歳の孫が保育園に通っているの、身近な問題と知りました。うたごえを知った今日は、難しいテーマを話で聴くよりも、心に残った日でした。

●「良かった。久しぶりに生の大演奏を見て元気出ました。お年の方もたくさん歌ってられました」

●昨日はお世話になりました。竹下景子さんに会うなんて！今テレビで出ていますよね。神戸の震災朗読をされていたことも初めて知りました。指定席なのでよくみえました。ありがとうございました。参加してよかったです

●今日はホントご苦労さまでした。有料の座席ですが、特等席でした。淡路から行った人感動の連続でしたよ👏  
来年、長野に行きたいと言い出したりしておばさんパワーに負けてしまいました。

アリーナ出たところで手袋シアターあまりに可愛いくて買ってしまいました👏

●昨日のGライオンアリーナでの大音

楽会誠におつかれさまでございました👏  
そしてこの度の神戸での祭典のご成功を心よりお祝い申し上げます!!👏👏👏  
あの大々大人数を束ねられて指揮をされる増田さんのお姿素敵でした〜👏👏👏  
大変大変にお疲れのことと思います。ゆっくりとお身体癒してくださいませ。



●手をつなぐのステージでは、「二役目後」のプラカードを持っていたら、そのまま、のぼりを持つ事になってしまつて壇上へ。何年ぶりかで、元保育士の血が騒ぎました。

●手をつなぐのステージで平場のすぐ後ろで歌っていたのですが、平場の保育士さんがお子さんを背負って参加されていた、お子さんは流石、熟睡しておじさんたちの声ではびくともしなかった。まいったな！

●保育士、JALの方々、幟(のぼり)が林立し、服装も様々で、子供を抱いた方もいて、心に残りました。闘いの現場にいる方々の歌声が圧巻で、よかったですね。

●3日間、うたごえ祭典。お疲れさまでした👏  
神戸の方たちがあちらこちらで、忙しくされましたね。ほんとうにありがとうございました。お疲れさまでした。ジーライオンアリーナ神戸では、全国の国鉄の皆さん、私鉄のみなさんが要員で、バタバタと動き回ってられました。ほんとうにありがとうございました👏

大きな舞台を成功させるために、縁の下から支える人たちがいるからやと思いました。  
皆さん、今日は、ゆっくり休んでくださいね(はしゃぐ)  
お疲れさまでした👏  
ありがとうございました(ありがとう)

●神戸のうた祭典、お疲れ様でした。とてもスケールの大きな大音楽会でした。また、合同演奏への参加も準備段階から詳しい資料を配信していただいたおかげで、不安はなく、当日はスムーズに動くことができました。木村さん、下温湯さん、その都度配信連絡していただきありがとうございました。三日間で5000人と言う大人数の人々が参加したこの大音楽会が、無事に成功し、素晴らしいなと思いました。会場ではたくさんの方々のナッパ服姿の人々も働いてくださっているのをみて、本当にありがたかったです。お疲れ様でした。そしてありがとうございました👏

●今回の祭典を通して、全国の保育のうたごえの皆さんとつながりができ、県内のうたごえとつながり、保育士とつながりが広がり、JALや国鉄のうたごえの方々ともたくさん交流して来ました。その皆さんと一緒に祭典の準備を進め、当日一つになって歌うことができ、大変貴重な経験をさせていただきました。感謝！です。ありがとうございました。

●国鉄のうたごえの方が昨日は、まるで地元の人のように祭典を支えてくださっていて、感謝！です。ありがとうございました！



●一人一人の声が合わさって、あんな素敵なコーラスになるんですね。歌っている自分には分からないけれど、客席で聴いていると力強さや繊細さ、など歌に込められたみんなの想いが伝わってきますね。歌い終わった後、達成感と緊張が解けた寂しさだが、漂っていました👏

●国鉄、JAL、それぞれのたたかひの歌を聞き感動したことを覚えています。今回は保育も含め、合同で大きなうたごえになり、連帯の力強さでさらに感動も大きくなりました！

●練習の時は歌うことで精一杯でした。本番では、2つの闘争、運動の歌そして最後に人間の歌で仕事への誇りや人間の尊厳を歌ったのだと感じることができました。今回JALの方の話を聞き全国にはさまざまな闘争、運動が繰り広げられていることに思いを馳せることができました。

●保育士、JAL、国鉄の労働者のたたかひのうたは大勢で歌うことでみんなが連帯して闘っているようで感動しました。(夫の感想です)

